ベルタイマー

TB－102QM
TB－104QM

UCHIDA 取扱い説明書

1/7

株式会社 内田洋行
教育機器事業部

このたび、「ウチダベルタイマー」をご採用いただきありがとうございます。ご使用前に是非この取扱説明書をご精読いただき、正しい操作をお願い致します。

■特　長

1．時計精度
水晶発振式クォーツモーター採用により月差±５秒以内の高精度です。

2．停電補償
ニッカド蓄電池による自動充電方式により停電時においても正常に動作しつづけます。

3．時　報
日課または予定の時刻を１度セットするだけで、毎日何回でも自動的に音響器の動作が行なえます。

4．週間プログラム
日によって時間割が異る場合は自動的に各信号回路を切換えて動作さすことができます。

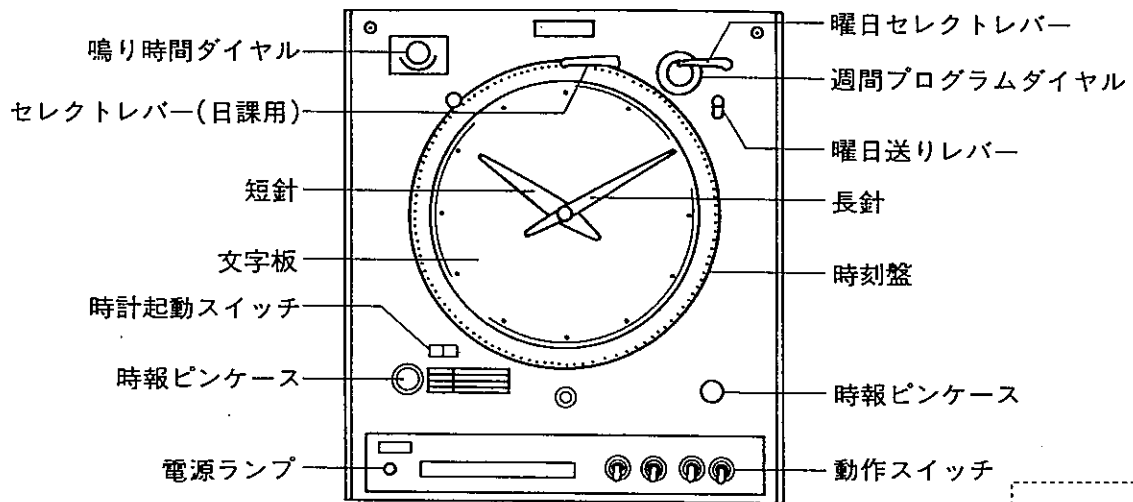
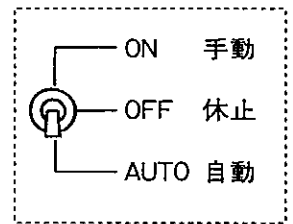
5．設置方法
取付結線台採用のニューアイデア、安全確実です。

6．全ての操作が前面操作
時間合せ、プログラム設定、手動スイッチ、鳴り時間、タイマー起動、停止など全ての操作が前面で簡単にできます。

7．保　守
保守の容易なブロックビルト方式の採用

■仕　様

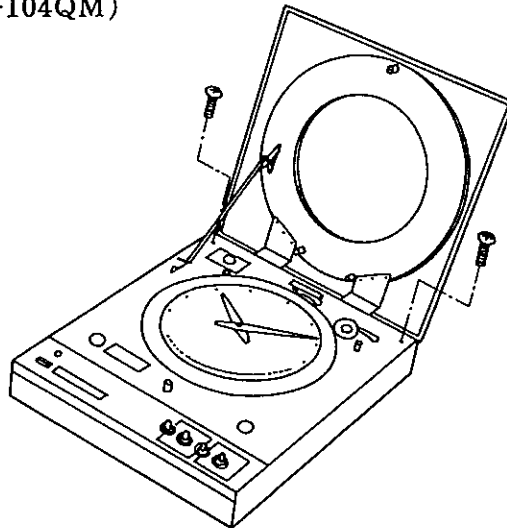
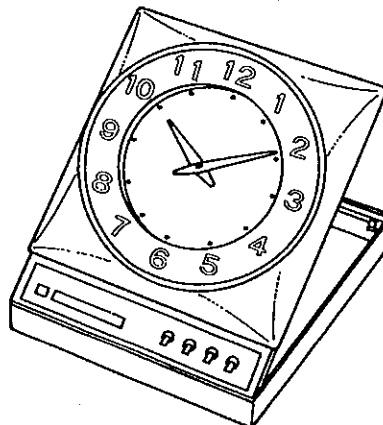
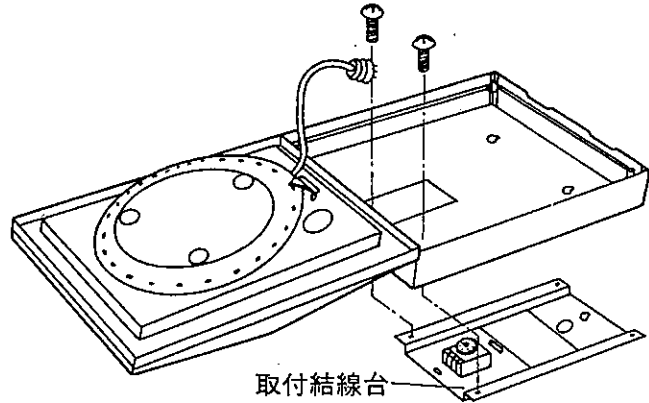
	ＴＢ－102ＱＭ	ＴＢ－104ＱＭ
出力回路	独立２回路	独立４回路
外形寸法	284W×88D×337H m/m	284W×110D×337H m/m
重量	約4.2kg	約5.8kg
機構	クォーツ（水晶）発振方式	
定格電圧	ＡＣ100Ｖ（50･60Hz共用）	
時計精度	月差±５秒以内	
停電補償	ニッカド蓄電池自動充電方式 補償時間75時間以上、充電時間約５日間	
プログラム	１日24時間５分単位（最大288回） ２週間周期プログラム選択	
出力接点	無電圧接点方式、容量５Ａ	
鳴り時間	８～60秒可変	
文字盤径	φ250m/m	

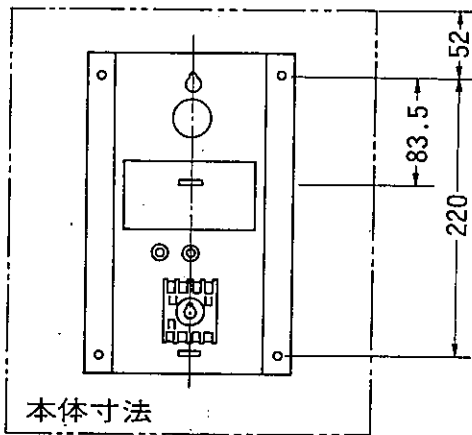
■各部の名称

※TB-104QM

■使用方法

Ⅰ. 取　付

1)取付結線台をはずす（※図はTB-104QM）

① 中板止めビスを外す。

② フタを閉じ中板を手前に引き出す。

③ 本体止めビスを外す。
11Pプラグを引き抜く。
取付結線台を外す。

2)取付結線台を固定する

取付位置は、直射日光をさけ、湿気やほこりが少なく、振動や傾斜のない見通しの良い場所を選びます。

※TB-104QM·TB-102QM

3)結線端子に外部線を結線する。
(結線方法の項を参照して下さい)

2. 時報時刻の設定(日課の設定)

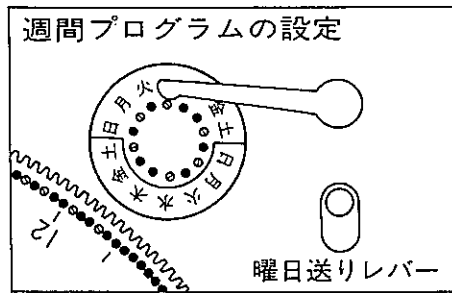
時報時刻の設定は、備え付けの時報ピンを時刻盤のピン孔に差込んで軽く締めてください。時刻盤は24時間目盛で5分単位になっています。

※TB-102QM

時報ピン	使用チャンネル
	CH-1用
	CH-2用
	CH-1·2共通用

※TB-104QM

使用チャンネル	
前面CH-1用	内側CH-3用
〃 CH-2用	〃 CH-4用
〃 CH-1·2共通用、	〃 CH-3·4共通用

3．週間プログラムの設定

① 時刻盤に差込んだ時報ピンと同じピンを使用します。週間プログラムダイヤルのその曜日に差込みます。（2週間制になっておりますので、必ず両方に同じピンを入れて下さい。ピンのさしてない曜日は休止となります。）

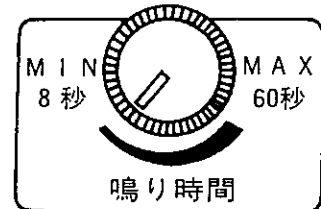
② 曜日を合せます。
前面と内側の曜日を両方共、曜日送りレバーにて当日の曜日に合せます。

4．調　整

1）時刻合せ

① 必ず長針を前進させて時刻を合せます。この時、時刻盤は24時間制になっておりますので、時刻盤上のセレクトレバーの時刻を見て、午前・午後を区別して下さい。
※針の逆転や、短針を単独で廻すことは絶対にしないで下さい。

② ＡＣ電源を接続し、前面の「起動—停止」スイッチを、時報に合せて「起動に入れます。

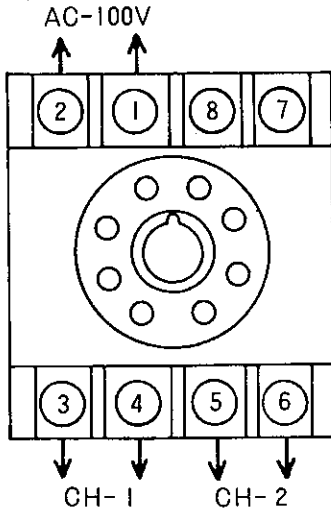
2）鳴り時間調整
鳴り時間は、８秒から60秒まで任意に調整できます。
チャイムに接続する場合は、15秒位が適当です。

3）チャイム奏鳴の確認
手動スイッチをＯＮにします。時刻に関係なくチャイムが鳴ることを確認します。

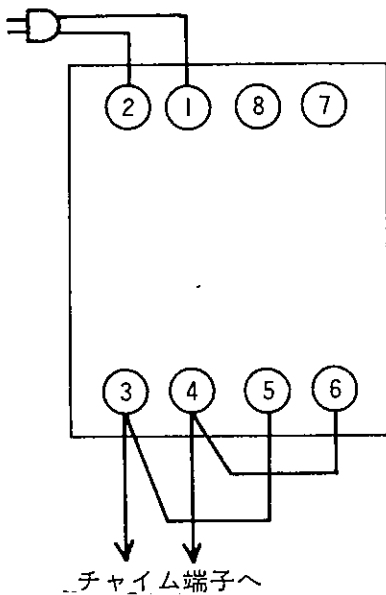
4）セット完了
必要なチャンネルの動作スイッチを「AUTO」側にします。（使用しないチャンネルは「OFF」にしておきます。）

5）臨時緊急の場合、動作スイッチを「ON」側にします。

■結線方法

① TB-102QM

〈端子部図〉

〈結線図例〉

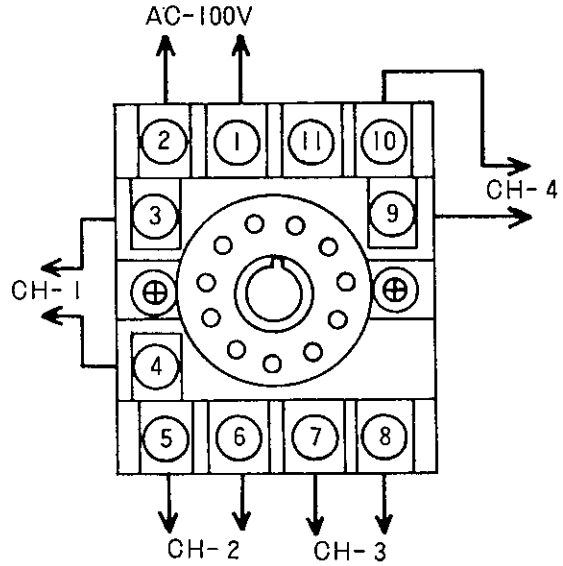
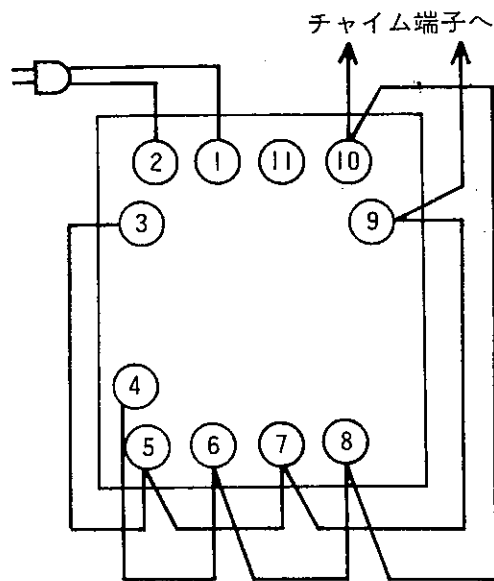
2通りの日課の場合

② TB-104QM

〈端子部図〉

〈結線図例〉

4通りの日課の場合

株式会社 内田洋行
教育機器事業部

S728-827-2-UM-200(80)

ベルタイマー取扱 補足説明書

本機の取り付け設置工事は,安全のため取扱説明書と同時に,この補足説明書を必ずお読み下さい。

⚠ 注 意

※ 設置工事時の感電防止等,一層の安全のため,AC電源コードは総て設置・結線終了後に,AC-100V電源コンセントに接続して下さい。

※ 安全のため,アース端子にアース線を結線してアース接地を行って下さい。

取り付け設置の順序

1,取り付け結線台を本体より外して,設置場所に取り付け固定をする。

※ 取り付け壁面に合った取り付けネジ,又はアンカーボルト等を使用する,タイマーの重量に充分耐えられる固定ネジをご使用てし下さい。接着剤等は事故防止のため不可。

2,出力端子(US-8P又は11Pコネクター)出力チャンネル(1CH~4CH),出力チャンネル2CH~4CHの機種は渡し線で接続をする。(取扱説明書の結線方法参照)

3,出力端子に時報外部負荷(チャイム等)を接続をする。

4,安全のため,アース端子にアース線を結線してアース接地を行って下さい。

5,時報板に時報ピンをセットする。(取扱説明書の時報時刻設定参照)

6,取り付け結線台に時計本体を取り付けて固定する。

7,上記の設置・結線が総て終了後,AC-100V電源を通電する。

8,時刻合わせ,(取扱説明書の時刻調整参照)